

NO. 41

キャンドルファイヤー (CDF)

1 ねらい

・ろうそくの炎を囲みながら仲間と楽しく活動したり、静かに過ごしたりすることで、より深い思い出にする。

2 活動の計画

(1)活動期間	通年	
(2) 所要時間	1~1.5時間	
(3)活動場所	体育館,多目的ホール	
(4)準備物	[自然ふれあい館]	〔利用団体〕
	燭台3種類	・ろうそく
	(切り株型,柄つき,個人用)	・スタンツ用小道具
	・燭台(切株型)用シート	・歌唱用CD
	・衣装(上下, 冠)	
	・アンプ (CDカセットデッキ)	
	延長コード、マイク	

3 活動について

(1) 主な係 (例)

- ・会場係:会場設定,燭台やろうそくの準備・片付けをします。
- ・誘導係:火の神、火の子の誘導や配置、衣装の準備・片付けをします。
- ・効果係:マイク,テープ,伴奏,照明等の担当をします。
- ・出し物係:事前に準備させておき、同じ種類のものに偏らないように配慮します。
- ・進 行 係:会の進行,儀式の部とスタンツの部に分けてもよいです。

(2) 役割(例)

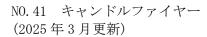
- ・営 火 長:団体のリーダー、全体運営を担当します。
- ・火の神:点火の言葉を担当します。
- ・火の子:グループの代表,誓いの言葉を担当します。

(3) その他

- ・音楽や照明を効果的に使って雰囲気作りをするとよいです。
- ・展開例は様々あり、集団の構成や野外活動の目的に合わせて工夫してください。
- ・活動後は団体で清掃を行ってください。
- ・切り株型の燭台の下には燭台用シートを敷いてください。
- ・ろうそくはふれあい館でも購入できます。(様式7参照)



写真1 切り株型燭台



4 質の高い教育を みんなに

オーエンス泉岳自然ふれあい館

4 展開例

4 展開例		
区 分	内 容	
	(1) キャンドルファイヤー係と一緒に燭台へのろうそく取付,音楽,器材等の準備	
準備・説明	・説明 をします	
(10分)	(2) 司会進行の係と活動の流れを確認します	
	(3) 火の神・火の子の動きを確認します	
活動 (60 分)	(3) 火の神・火の子の動きを確認します ※照明を暗くする (1) 静かに及場し、燭台を囲むようにして座ります (2) 夜の歌 ・「遠き山に日は落ちて」などを歌います、1番は合唱、2番はハミング (3) 火の神・火の子入場 ・ハミングが始まったら、火の神はトーチをかかげて火の子を従えて入場し、場内を一巡してから所定の位置に立ちます (4) 点火の言葉(火の神) ・手持ちの燭台をかかげて、おごそかに話します (5) 分火 ・火の神から火の子の燭台に分火します (6) 誓いの言葉(火の子) ・火の神から火の子に分火された後、火の子がそれぞれ燭台をかかげて誓いの言葉を述べます (7) 点火(火の神,火の子) ・火の神は中央の燭台に火の子は参加者の燭台に点火します (8) 炎の歌 ・「燃えるよ燃えろ」をおごそかに歌います ※照明を明るくする (9) スタンツ ・班ごとに出し物を披露します ・ 合間に全員参加のゲームなども入れて盛り上げてもよいです ・ 演技者に対して拍手するなど、なごやかな雰囲気の中で進むようにします (10) 賞火長の言葉 ・キャンドルファイヤーをふりかえって ・ 営火の意義について ・ 野外活動や団体活動について 等のお話をします (11) わかれの歌 ・「今日の日はさようなら」を歌います 歌の途中からハミングにしても雰囲気がでます (12) 退場 ・ 静かに退場します。歌いながら退場する方法もあります (12) 退場 ・ 静かに退場します。歌いながら退場する方法もあります (11) キャンドルファイヤー係と一緒に燭台へのろうそく取り外し、音楽、機材等の	
まとめ・片付け (10分)	後片付けをします (2) ろうそくの火が消火したことを確認します	

5 活動上の留意点

・会場を暗くしたときの安全を配慮し、火傷にも気をつけてください。